

# 第6次東員町総合計画 効果検証委員会



**OMIGOTOIN**  
健康活躍のまち 東員町

令和5年9月25日



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

# 東員町総合計画の将来像

健康活躍のまち東員町

「おみごと！があふれる町へ」

総合計画P.10より

第6次東員町総合計画の将来像の実現に向けて、  
掲げられた重点施策として、令和4年度に実施された  
事業やイベント、取り組みに対して報告します。

## 2 重点施策

将来像の実現に向けて、東員町らしい施策の推進を目指し、重点施策を設定します。

### 健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル※予防などの健康づくりを進めます。また健康的に活動できるよう、日常の移動手段に新しい技術を取り込んだ交通手段も含めて確保します。

1-1 健康づくりの推進

3-3 高齢者福祉の推進

9-3 公共交通網の維持・確保（総合戦略）



### 子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。

2-1 子育て支援の充実（総合戦略）



### 稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりとして農業の6次産業化を進めます。

7-1 農業の振興（総合戦略）

7-2 商工業の振興（総合戦略）



### 協力しあえるまち

まちづくりは行政だけで担えるものではありません。地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など様々な人々と協力、協働しながら進めます。また、地域間連携として広域的な連携も行いながらまちづくりを進めます。

3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進（総合戦略）



### 人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

6-3 文化力の向上（総合戦略）

6-4 スポーツの振興（総合戦略）



総合計画P.20、21より

東員町まち・ひと・しごと創生総合戦略にも掲げる施策は（総合戦略）と表記しています。

※注釈

■フレイル

健康から要介護へ移行する中間の段階で具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指す。

# 重点施策その1 健康で暮らせるまち

## 健康で暮らせるまち

誰もが健康で暮らせるよう、フレイル※予防などの健康づくりを進めます。また健康的に活動できるよう、日常の移動手段に新しい技術を取り込んだ交通手段も含めて確保します。

1－1 健康づくりの推進

3－3 高齢者福祉の推進

9－3 公共交通網の維持・確保（総合戦略）



# 健康で暮らせるまち（実施事業）

・令和3年度から始まった「おでかけ元気パス」の1つの取り組みとしてオレンジバス運賃が半額になります。

令和3年度は16,565回

令和4年度は17,496回利用されました。

## おでかけ元気パス事業が始まります

高齢者の皆さんの心身の健康を維持するためには、運動や栄養に加えて「社会参加」が最も大切であると言われています。

高齢者の皆さんの外出を容易にし、社会参加の促進や心身の健康、保持増進を図るため、対象者に対し「おでかけ元気パス」を配布します。



オレンジバスに乗って元気におでかけしよう！

4月から

4月からオレンジバスの運賃が200円となりますが、おでかけ元気パスを運転手に提示することにより、半額（100円）で利用可能になります。

これから

町施設の優待利用など、高齢者の皆さんの社会参加、健康維持に役立つさまざまな特典を充実させる予定です。新たな特典については決まり次第、随時お知らせします。



# 健康で暮らせるまち（実施事業）

・令和3年に研修を受けたフレイルサポーターの方たちが地域で活動を始められています。

※フレイルサポーターとは地域の通いの場などを回り、高齢者へフレイルチェックを通してフレイル予防活動を行う活動を行う方です。

## 3/14 フレイルサポーター活動開始

フレイルサポーター第1期生が瀬古泉集会所を訪れ、地域住民21人を対象にフレイルについての説明やフレイルチェックを行いました。

フレイルサポーターにとっては、この日が初めての実践となりましたが、緊張しながらも一生懸命説明していました。

フレイルサポーターは、この日を皮切りに、今後も各地域をまわってフレイルチェックやフレイル予防の取り組みを行っていく予定です。





# 健康で暮らせるまち（実施事業）

・スマホを使いこなすことが出来ると生活がもっと楽しく、もっと便利になります。そのためにスマホ教室を開催しました。

## スマホ教室

経験豊富な講師が皆さんのスマホの「わからない」を解消します。スマホの「わからない」がなくなれば、生活がもっと楽しく、もっと便利になりますよ。



### 東員町・東員町社会福祉協議会 実施事業

講座名	会 場	開催日	時 間	講座内容	定員
入門 コース	世間コミュニティセンター	10/13(木)	9:00 ~ 12:30	スマホの電源・基本操作	各会場 10人
	ふれあいセンター	10/15(土)		電話をかけよう 安心して利用しよう	
初級 コース	世間コミュニティセンター	10/21(金)	9:00 ~ 12:30	インターネットを使おう	各会場 10人
	ふれあいセンター	10/22(土)		カメラを使おう メールを使おう	
中級 コース	世間コミュニティセンター	10/27(木)	9:00 ~ 12:30	地図を使おう	各会場 10人
	ふれあいセンター	10/26(水)		LINEを使おう アプリを使おう	

申込先 東員町スマホ教室受付係 ☎090-3308-6245  
(10:00~19:00 10/18(火)、19(水)を除く)

### 三重県 実施事業

講座名	会 場	開催日	時 間	講座内容	定員
初級編	ふれあいセンター	10/31(月)	9:00 ~ 12:00	スマホの電源・基本操作 電話・メールの使い方	各会場 10人
	世間コミュニティセンター	11/11(金)		インターネット・ カメラの使い方 安心して利用しよう	
中級編	ふれあいセンター	11/2(水)	9:00 ~ 12:00	地図の使い方	各会場 10人
		11/4(金)	13:30 ~ 16:30	LINEの使い方 ニュース・動画 を見てみよう	
	世間コミュニティセンター	11/17(木)	9:00 ~ 12:00	アプリの使い方	

申込先 財政課 ☎86-2820 (平日 8:15~17:00)

- ★対 象 町内在住で、スマホを使いたいと思っている人やスマホの操作に慣れていない人、もっとスマホを使いこなしたい人
- ★参 加 費 無料
- ★申込方法 電話でお申し込みください。 ※先着順
- ★そ の 他 当日はご自身のスマホで参加していただきます。通信キャリア・使用機種は問いません。スマホをお持ちでない人には、教室の間、貸出用のスマホを準備しますので、申込時にお伝えください。

☎ 財政課 ☎86-2820



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

# 重点施策その2 子育てがしやすいまち

## 子育てがしやすいまち

子育て世代にとって安心して子育てができる環境づくりを進め、次代を担う子どもたちの笑顔があふれるまちづくりを進めます。



2-1 子育て支援の充実（総合戦略）



# 子育てがしやすいまち（実施事業）

・農作物の播種体験や東員町の農産物を食べてもらうことで身近に農業を感じてもらうことを目的としています。



## 7/8 マメマメ大作戦

稲部小学校では、全校縦割り班活動として大豆の栽培をしていて、この日は種まきが行われました。

はじめに6年生が縦割り班の皆さんに、手書きの絵や説明文が書かれた台紙を使って、大豆が収穫できるまでの流れや種まきの方法について説明していました。その後、畑に移動して上級生が下級生に教えながら、暑い中でしたが一生懸命種をまいていました。大きく立派な大豆が育つといいですね。



## 8/1 東員町産ブルーベリー贈呈

園児たちに、東員町産の食材に親しみを持ってもらおうと、シグマファームというんが町内の幼稚園・保育園にブルーベリーを贈呈しました。この日は、シグマグループのマスコットキャラクター「しぐまちゃん」から園児たちにブルーベリーが手渡されました。園児たちはブルーベリーに興味津々で、翌日にはおやつとして出されたみずみずしいブルーベリーを、おいしそうに食べていました。

# 子育てがしやすいまち（実施事業）

・イオンモール東員と大学生ボランティアがイオンモール東員内で町内の未就学児から中学生を対象に無料で学習のサポートを行う事業を実施しています。



## 8/25 To in ひばり教室

小中学生の夏休みの宿題や勉強を大学生がサポートする「To in ひばり教室」が開かれました。この教室は、町内在住の大学生ボランティア団体が、イオンモール東員から場所の提供を受けて企画したものです。参加した子どもたちは「楽しかったのでまた来たいです」「分かりやすい説明で難しい問題も解けました」と話していました。代表の松永 朋樹さんは「子どもたちの難しい問題が解けた時の笑顔を見るのが好きです」と話していました。

# 子育てがしやすいまち（実施事業）

・東員第二中学校40周年を記念し、  
ヴィアティン三重のホームゲームで  
吹奏楽の演奏とソーラン節の披露  
がありました。



## 8/28 ヴィアティン三重×二中

東員第二中学校40周年を記念して、ヴィアティン三重ホームゲームの試合前とハーフタイムに、吹奏楽部による演奏とソーラン節の演奏が披露されました。吹奏楽部の演奏では、全3曲を披露し、風が強い中でしたが、生徒たちは一生懸命演奏していました。また、ソーラン節では、有志で集まった生徒たちが、暑い日差しが降り注ぐ中、迫真の素晴らしい演奏を披露していました。



# 子育てがしやすいまち（実施事業）

・2年延期になっていました第25回記念東員町こども歌舞伎公演が行われました。

## 6/19 東員町こども歌舞伎公演

新型コロナの影響で2年延期になっていた第25回記念東員町こども歌舞伎公演が行われました。  
今年の演目は「白浪五人男 しらなみごにんおとこ 稲瀬川勢揃いの場 いなせがわせいぞろ」  
と「義経千本桜 よしつねせんぽんざくら 道行初音旅 みちゆきはつねたび 吉野山道行の場 よしのやまみちゆき」  
で、子どもたちは2年間舞台に立つことができなかった悔しさを晴らすかのように、堂々と演技を披露すると、観客席から盛大な拍手が送られていました。

公演後は、第25回を記念して十代目松本幸四郎丈のトークショーが行われ、子どもたちの演技の素晴らしさを話していました。





OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

# 重点施策その3 稼げるまち

## 稼げるまち

農業を核とした、新しいまちのブランドとなるような農産物づくりに取り組み、稼げるまちづくりとして農業の6次産業化を進めます。

7-1 農業の振興（総合戦略）

7-2 商工業の振興（総合戦略）



# 稼げるまち（実施事業）



管理棟南側芝生広場に「マメマチCAFE」がオープンしました。この施設は、ハウスメーカーの株式会社 一条工務店のグループ会社である株式会社 日本産業から企業版ふるさと納税として寄付されたもので、モバイル建築と呼ばれる移動式コンテナハウスを活用して建てられています。

施設屋根には、90枚の太陽光パネルが設置され、1時間あたり最大22.5kW発電することができます。また、発電した電気を蓄電する機器も備え付けられています。

このような機能性から、災害時には物資供給の拠点やモバイル建築ならではの被災地へ移動して活用することができますので、平時は中部公園を利用する人が楽しんで過ごしてもらえるように飲食と物販を行う施設として利用します。

施設内の机やイスは東員町と友好親善提携をしている大台町の木材を使用しています▶



▲9月17日に行われたマメマチCAFE除幕式の様子



東員町産 黒きな粉が味わえるお店 **東員Lab. 東員きなこ研究所**

東員町産大豆で作った黒きな粉をふんだんに使った「煎りたて黒きなこ氷」が一番人気です。この黒きな粉は、大豆粉を焙煎してしっかりと焼き上げているため、黒きな粉の香りが口の中いっぱいに広がり、自家製の蜜と生クリームが相性抜群で、ここにしかないかき氷を味わうことができます。

黒きな粉がモリモリにのっています。冬には、黒きな粉を使ったパフェを販売する予定です。

煎りたて黒きなこ氷

▲黒きな粉は、健康や美容にもいいとされていますので、一度ご賞味ください！

南山 紗栄 さん

メーテレ(名古屋テレビ放送)の朝の情報番組「ドデスカ!」で紹介されました！

お店DATA ☺ 10:00～15:00 (定休日：月・火 ※月曜が祝日の場合、水曜日)

・中部公園内にマメマチCAFÉがオープンし各種メディアから多くの取材を受けました。



# 稼げるまち（実施事業）

・東員町の特産品を町内外に広めるため、  
1月18日に東員町特産品認定審査委員会  
が開かれました。



## 1/18 特産品認定審査会

町では、町の認知度向上を目的に、特産品認定制度を設けています。今回の審査会では、新たに東員町産の食材を使った食品5品目が認定されました。今回認定された商品は、ミナミ産業株式会社の「やみつき揚げ」、NINE BAKERYの「大豆のミルクハース」、まこと商店の「さつまいもとアーモンドのタルト」「干し芋」、東員Lab.の「黒きな粉」です。今回認定された商品は、町内の飲食店などで販売されています。

### 大豆 グルメ

**大豆 グルメ**  
大豆の魅力を最大限に引き出し、健康と美味を兼ね備えた大豆製品。大豆の栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応の大豆製品も豊富です。

**原材料の約99%に  
東員町産の大豆と米を使用**

**東員町ちりめん ころん焼ごぼう**  
(プレーン、日本産)  
1箱 ¥200  
東員町産の大豆と米を使用した、ちりめんごぼうの焼きたて。大豆の栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応の大豆製品も豊富です。

**低糖質＆低カロリーで  
アレンジもいろいろ!**  
大豆こんにゃく、  
こんにゃくうどん  
1箱 ¥150  
東員町産の大豆と米を使用した、低糖質・低カロリーの大豆製品。アレンジもいろいろと楽しめます。

**大豆のミルクハース**  
1箱 ¥150  
大豆の栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応の大豆製品も豊富です。

**23年1月に認定!  
食べ万量豊富な  
菜かパン**

**伝統  
工芸品**  
夏の音色を奏でる  
幸運を呼ぶフクロウ  
1箱 ¥150  
東員町産の大豆と米を使用した、伝統工芸品のフクロウ。夏の音色を奏でる幸運を呼ぶフクロウです。

**ご当地  
ドリンク**  
猪名郡ジジヤール  
1箱 ¥150  
東員町産の大豆と米を使用した、ご当地ドリンク。猪名郡ジジヤールです。

**ご利益アップ!?  
神社発振ドリンク**

### 米粉 グルメ

**米粉 グルメ**  
米粉の魅力を最大限に引き出し、健康と美味を兼ね備えた米粉製品。米粉の栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応の米粉製品も豊富です。

**米粉食パン**  
1箱 ¥200  
東員町産の米粉と大豆を使用した、米粉食パン。米粉の栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応の米粉製品も豊富です。

**食べ応え抜群の  
キュートなパンダ型パン**

**米粉焼きドーナツ**  
(プレーン、豆乳、ココナツミルク)  
1箱 ¥200  
東員町産の米粉と大豆を使用した、米粉焼きドーナツ。プレーン、豆乳、ココナツミルクの3種類があります。

**米粉パン ご飯ダ**  
(プレーン、豆乳、  
ココナツミルク)  
1箱 ¥200  
東員町産の米粉と大豆を使用した、米粉パン ご飯ダ。プレーン、豆乳、ココナツミルクの3種類があります。

**さつまいも  
アーモンドタルト**  
1箱 ¥200  
東員町産のさつまいもとアーモンドを使用した、さつまいもアーモンドタルト。さつまいもの栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応のさつまいも製品も豊富です。

**サツマイモ  
グルメ**  
1箱 ¥200  
東員町産のさつまいもを使用した、サツマイモグルメ。さつまいもの栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応のさつまいも製品も豊富です。

**甘味たっぷり  
自家栽培のべにはるか使用**

**干し芋**  
1箱 ¥200  
東員町産の干し芋を使用した、干し芋。干し芋の栄養価が高く、低糖質・低カロリーで、アレルギー対応の干し芋製品も豊富です。

# 稼げるまち（実施事業）

・新型コロナウイルス感染症の影響により、コメの価格が低下しました。農業振興を目的に18歳以下のお子さん1人につき東員町産コシヒカリ10kgを無料で配布されました。

## ピックアップ

### 「とういんのおこめ」を食べてほしい

東員町は町面積のおよそ3分の1が農地で、そのうち80%が水田です。その水田で作られているお米の約65%を占めるコシヒカリは、強い旨味と粘りに加え、香りとツヤ、炊き上がりの美しさ、歯ごたえの柔らかさがあり、食費で増えはかむほど甘みが増し、冷めてもおいしくいただける食味のあるお米です。このように東員町内でおいしいお米が作られています。新型コロナウイルス感染症の影響で、お米の消費量が減少し価格が低下するなど、町内の農業生産者の皆さんにも大きな影響が出ています。そこで、「東員町農業生産者支援対策事業」として、東員町産コシヒカリである「とういんのおこめ」を配布します。

### 「とういんのおこめ」の特徴

強い旨味と粘り

香りとツヤ

炊き上がりの美しさ

歯ごたえの柔らかさ



## 担当者の思い

今回の事業は、町内の農業生産者支援対策に加え「子どもたちに町内のお米を知ってほしい。そして、東員町産のお米を食べてほしい」という思いも込めています。「とういんのおこめ」が届くまで、楽しみにしててください。



▲産策課 小林 幸恵さん



▲袋内文を入れた封筒と配布する「とういんのおこめ」のパッケージ

## デザインもこだわりました

パッケージの中心に大きく配置されたお米は、東員町の形をモチーフにかわいらしくデザインしたものです。また、お米を駆け上がる馬は、町の伝統である上げ馬神事を表しています。外側の赤い枠は「親と子、町民と町民、生産者と消費者、役場と町民」のつながりを1本の線と4つの角で表現しました。



お米の形

東員町の形

町出身の大学生とデザイナーが有志でパッケージや封筒のデザインをしてくれました。



名古屋学芸大学デザイン学科4年生  
伊藤 瑞穂さん



名古屋学芸大学デザイン学科卒業生  
株式会社WithGreen デザイナー  
森本 拓実さん

産策課 産策協同係 ☎06-2808



# 稼げるまち（実施事業）

・スマート農業の普及促進を  
目的とした、  
「東員町スマート農業推進協  
議会」が設立されました。

## 4/20 東員町スマート農業推進協議会設立

町内農業者へのスマート農業の普及促進を目的とした「東員町スマート農業推進協議会」の設立総会が行われました。この協議会は、農業者のほかにJAみえきた・NOSAI三重・三重県・東員町で構成しています。

会員の農業者が、トラクターやコンバインなどの農業機械を自動で運転する自動操舵装置を導入し、成果や課題などを協議会で共有することで、町全体にスマート農業を広めていきます。



# 稼げるまち（実施事業）

・3年ぶりに東員町商工祭が開催され、幅広い年代の方が集まり盛況していました。



## 10/16 東員町商工祭

東員町の商工業の普及発展や、町の特産品を町内外の人に知ってもらおうと、第39回東員町商工祭が行われました。オープニングでは飛龍東員太鼓の演奏や華みこしなどが行われ、会場には約40のブースが並び、お菓子やパンなどが販売されるなど、とても活気にあふれていました。また、自衛隊による偵察用バイクの試乗体験や、東員町消防団による消防車の乗車体験もあり、幅広い年代の人たちが祭を楽しんでいました。



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

# 重点施策その4 協力しあえるまち

## 協力しあえるまち

まちづくりは行政だけで担えるものではありません。地域の人、企業の皆さん、NPO、ボランティアの方など様々な人たちと協力、協働しながら進めます。また、地域間連携として広域的な連携も行いながらまちづくりを進めます。

3-1 主体的で特色のある  
地域づくりの推進（総合戦略）



# 協力しあえるまち（実施事業）

・自立的・持続的な地域づくりと活動計画の  
作り方について学ぶことを目的に自治会を  
対象とした講演会が行われました。



## 6/4 地域づくり講演会

自立的・持続的な地域づくりと活動計画の作り方について学んでもらおうと、自治会を対象に地域づくり講演会が行われました。講師に特定非営利活動法人 地域づくりの学び舎 大濱 裕氏を迎え、長野県飯田市上久堅地区が行っている地域づくりの実例を用いた、地域づくり活動の進め方などについて説明がありました。大濱氏は「地域づくり活動の計画を作るときに大切なことは、地域に住む皆さんと同じ目線を持つことです」と話していました。



# 協力しあえるまち（実施事業）

・東員町商工会青年部のみなさんが地域貢献として小学校の児童と共にプール清掃を行いました。



## 5/30 商工会青年部奉仕作業

東員町商工会青年部が神田小学校のプール清掃を行いました。これは商工会青年部の地域貢献と併せて、東員町の発展を願って地域の人たちが協力している姿を児童たちに見てもらうことで、東員町のことをより好きになってほしいという思いから実現したものです。新型コロナの影響で2年間水泳がなかったこともあり、プールは汚れている所が多かったのですが、皆さん協力して一生懸命プールを綺麗にしていました。



OMIGOTOIN

健康活躍のまち 東員町

# 重点施策その5 人生を豊かにするまち



## 人生を豊かにするまち

文化やスポーツなどを通して、東員町らしさを生み出すまちづくりを進めます。

6-3 文化力の向上（総合戦略）

6-4 スポーツの振興（総合戦略）



# 人生を豊かにするまち（実施事業）

・ヴィアティン三重ファミリークラブ  
と三岐鉄道株式会社が中心とな  
り北勢線の利用促進と地域活性  
化を目的とした、VEERTIEN TRAIN  
（ヴィアティントレイン）の運行を始  
めました。



黄色い電車でおなじみの北勢線ですが、車両をヴィアティン三重デザインにラッピングしたVEERTIEN TRAINが4月1日から運行を開始しました。VEERTIEN TRAINは、公共交通機関の利用促進と地域活性化を目的とした取り組みです。県内初のJリーグ入りを目指すヴィアティン三重と、三岐鉄道株式会社、そして2市1町が協力し実現しました。令和7年3月ごろまで運行予定です。

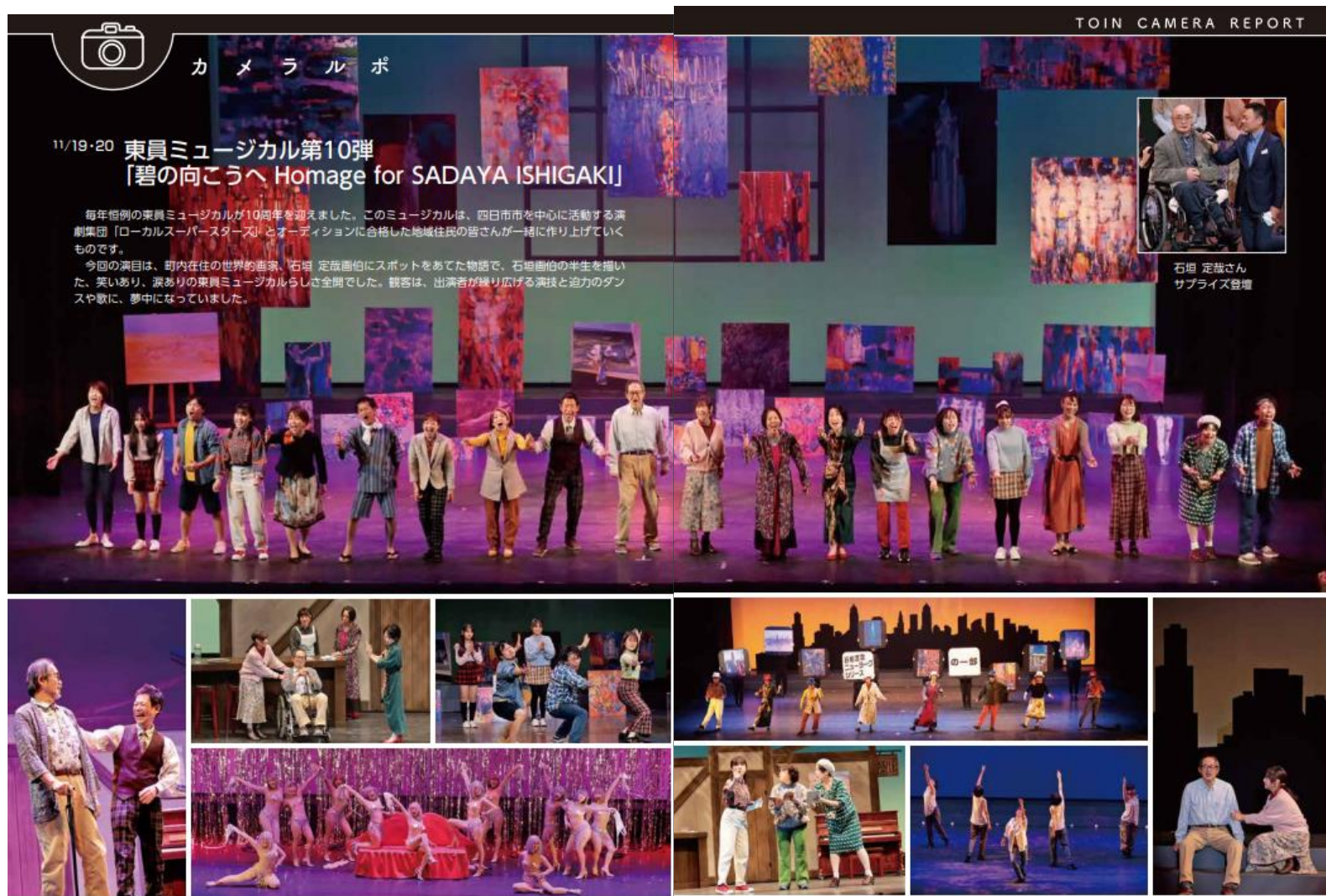


車体はヴィア君と私のコラボデザイン  
になっていて、サッカーコートが描か  
れている車両もあります！



# 人生を豊かにするまち（実施事業）

- ・東員ミュージカルが10周年を迎えました。
- ・令和4年度は石垣定哉さんの半生を描いた題材にした内容でした。



# 人生を豊かにするまち(実施事業)

・TOYOTIRE(株)から企業版ふるさと納税の寄附をいただきバスケットゴールを購入しました。  
このバスケットゴールはプロバスケットボール仕様でB3リーグの試合が行われました。



## 12/16 移動式バスケットゴール披露式

移動式バスケットゴールの披露式が行われました。このバスケットゴールは、TOYO TIRE株式会社から企業版ふるさと納税で購入費用の寄付を受け、総合体育館に導入するものです。この日はTOYO TIRE株式会社の関係者など7人が出席し、感謝状の贈呈や始球式が行われました。このバスケットゴールはプロバスケットボールの試合でも使うことができるもので、3月に行われるヴィアティン三重のB3リーグ公式戦でも使用される予定です。



## 東員町ゼロカーボンシティ宣言について

東員町では、令和4年9月1日に「東員町ゼロカーボンシティ宣言」を発出しました。



### 9/16 文化芸術基本条例策定委員会

町で行われているさまざまな文化芸術活動の向上のため、第1回東員町文化芸術基本条例策定委員会が開かれました。委員会は10人の委員で構成され、この日は委員を代表して三重大学 特命副学長 朴恵淑<sup>けいしき</sup>さんに委任状が交付されました。その後「東員町らしさを前面に出すこと」などについて話し合いが行われました。今後は条例の策定に向けて、議論を進めていきます。



### 東員町ゼロカーボンシティ宣言

東員町は、「健康」「家族」「つながり」「学ぶ」「働く」「暮らしやすさ」をかけがえのないものと位置付け、一人ひとりの活躍が東員町を創るとの考え方のもと、「健康活躍のまち東員町 おみごと！がふれる町へ」を目指したまちづくりを進めています。

一方、地球温暖化を起因とする気候変動により、集中豪雨や大型台風などの自然災害が各地で発生し、その深刻さは脅威になってきています。本町においても、令和元年9月大雨により冠水被害等が発生したことは記憶に新しいところです。このまま温室効果ガスの増加が続けば、異常気象の増加や農産物の品質低下、感染症の拡大、生物多様性の減少など、様々な悪影響を及ぼす恐れがあります。

2015年に合意されたパリ協定では、「世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて2度より十分低く保ち、1.5度に抑える努力をする」との目標が掲げられており、その実現には2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにすることが必要です。我が国においても2020年10月に2050年までに温室効果ガス排出量を全体としてゼロとすることを目指すと宣言されています。

町民の安全・安心で健康な暮らしを守り、恵み豊かな環境を「みらい」に継承していくため、町民、事業者との協働の下、積極的な脱炭素化の取り組みを推進し、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ東員町」の実現に向けて取り組むことを、ここに宣言します。



2022年(令和4年)9月1日

東員町長 水谷 俊郎

## 宣言後の取組

### ゼロカーボン実現計画を策定

町では、ゼロカーボンシティの実現に向けた取組強化のため「ゼロカーボン実現計画」を策定します。地域特性、地域資源を最大限に活用し、脱炭素社会の実現を目指した先導的・率先的な取組を取りまとめていきます。

### 省エネルギー設備、再生可能エネルギー設備の導入を推進

脱炭素社会の実現に向けた町の取組として、LED照明リースによる消費電力削減やPPA事業による太陽光発電設備の導入を推進します。

### 町民・事業者・行政の協働による町域全体での取組を推進

脱炭素検討委員会の設置、記念講演会の開催、その他、啓発活動や環境学習により、脱炭素社会の実現に向けた再生可能エネルギーの導入、ライフスタイルの転換を推進し、オール東員町による取組を推進します。